

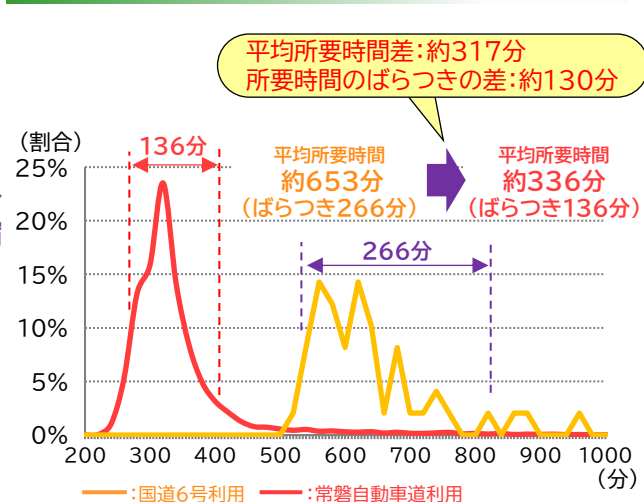
## 拠点間の所要時間を短く

- 東京～仙台間における所要時間は、常磐自動車道の整備により、**平均所要時間は約317分短縮**。所要時間のばらつきは約130分短縮し、拠点間の安定的な移動を支援。**道路利用者の約8割**が時間短縮効果を実感。

主要都市間の所要時間変化※1

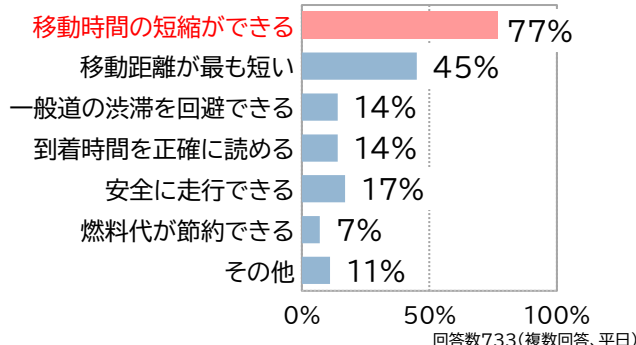


所要時間のばらつき(東京-仙台間)※2の比較



※2 時間信頼性(所要時間のばらつき)は、所要時間の上位10%値と下位10%値の時間差により評価(事故等が発生し、移動に極端に時間がかかってしまった場合などを除外する考え方)。

利用者アンケート結果※3  
(常磐自動車道を利用した理由)



【資料】休憩施設利用者アンケート調査(2024年5月・6月)  
※3 守谷SA、友部SA、中郷SA、四倉PA、南相馬鹿島SA、鳥の海PAの利用者を対象としたアンケート調査結果。

常磐自動車道がない頃、東京に出るために国道4号や6号を使い半日かかっていましたが、今は気軽に移動できます。(福島県在住)



利用者の声  
アンケート結果(2024年6月)

大洗町などの茨城県の海に行く際に、開通前と比べ移動時間が短縮できました。(埼玉県在住)



利用者の声  
アンケート結果(2024年8月)

【資料】全国総合交通分析システム(NITAS)ver. 3.0、ETC2.0プローブデータ(2023年10月)

※1 各役所間の所要時間を整理。常磐自動車道利用時は主に常磐自動車道を走行し、未整備時は主に並行する国道6号を走行した最短所要時間。